

空き家への対応は

〔笹原委員〕 空き家への対応状況は、解体補助の通知方法は。

〔当局〕 平成30年度は「特定空き家等（※）」の認定まで行い、その所有者には、建物の状況等を通知し、改修等を進めるようお願いしている。通知書には、解体補助事業の案内を同封している。

（※）特定空き家等…放置すれば保安上危険となるおそれがあり、法的措置の対象となる空き家。

町民一人あたりの負担額は

〔奥山委員〕 まちづくり

複合施設整備に起債を使うが、起債は借金である。町民一人あたりはいくらになるか。また、完成後の施設の維持費はどうなるのか。

〔当局〕 起債額24億8千万円を人口約1万4千人で割ると、一人あたり約17万7千円くらいである。維持費については、中央公民館と分庁舎が本庁舎に統合されることにより、効率化が図られると考えて

いる。

民生費

母子手帳アプリとは

〔笹原委員〕 母子手帳アプリ導入の背景は。アプリの内容は。

〔当局〕 子育て世代の大多数はスマホを所持しており、アプリの利用により、情報を素早く確認できるようになる。また、予防接種管理もできるようになる。町からは健診や、子育て情報等を発信する。

どうする婚活支援

〔奥山委員〕 婚活サポート事業の拡充内容は。

〔当局〕 平成30年度は、町内飲食店から協力いただき、出会いの場を設けた。好評だったため、開催回数や店舗を増やし実施する。

通学路点検の状況は

〔笹原委員〕 通学路点検の状況は。夜間の点検も実施するのか。

〔当局〕 学校、地域、警察等の関係団体と一緒に、通学路点検、防犯点検を実施している。夜間についても、それぞれの担当部署で点検している。

衛生費

がん検診の考え方は

〔奥山委員〕 若い人が、がんになる事もある。がん検診の考え方は。

〔当局〕 国の指針に基づき、胃がん検診、乳がん検診は40歳以上とするなど、対象年齢を設定している。今後も、国の指針に基づき、受診体制を整備していく。

再生可能エネルギーの普及状況は

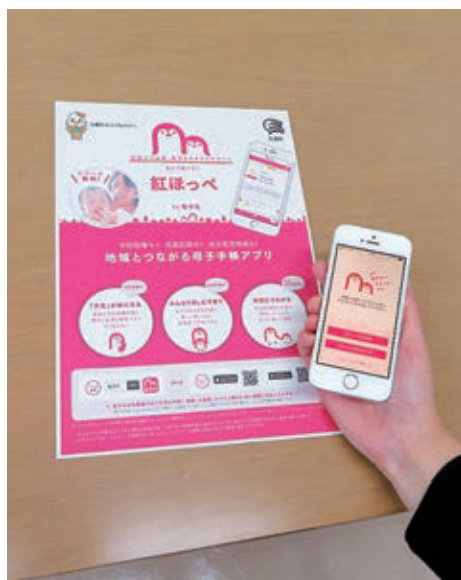
〔石川委員〕 太陽光発電など、再生可能エネルギー普及の状況は。

〔当局〕 平成30年度の見込みであるが、太陽光住宅用発電設備への補助が8件、木質バイオマスストーブ等への補助が6件である。

子どもの健康づくり健診の周知を

〔佐々木委員〕 子どもの健康づくり健診の受診率が、現状でおよそ50%。できるだけ受診してもらうよう周知を。

〔当局〕 対象となる小学5年生と中学2年生に案内を郵送している。また、学校保健委員会や保護者が集まる機会にも周知をする。



成長記録も家族みんなで共有
（母子手帳アプリ 紅ほっぺ）



子どもたちの安全はみんなで守る
（通学路点検）